

農産品関係のご利用事例紹介

事例① J A全農様・全農物流様 米専用列車の運転について

■ 既存の輸送力を活用した潜在的な輸送ニーズの取り込み、並びにパレット化の推進

週末輸送力を活用した米専用列車の運転 【J A全農様・全農物流様】

輸送概要

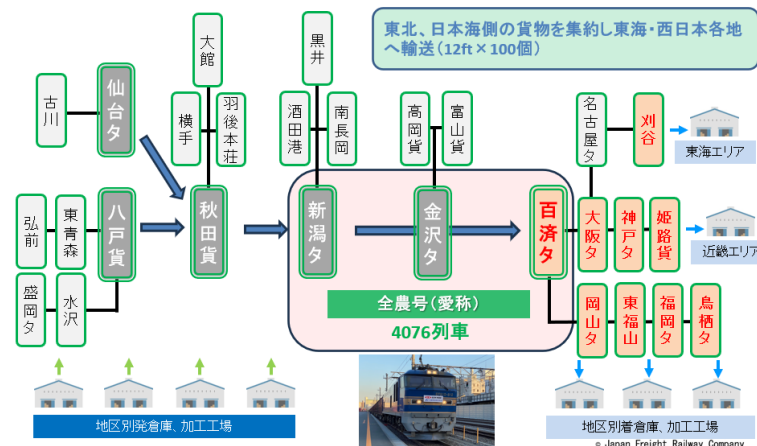
- ✓ 東北・新潟・北陸エリアから東海・西日本エリアへの専用列車による米輸送、週末の運休列車を復活運転し運行
- ✓ 2023年2・3・7月にトライアルを計3回実施（各日12ft×100個）。7月の試験輸送においては高温下での品質確認を行うとともに、新たに大豆、精米の輸送を試験的に実施した（過去2回は玄米のみ）
- ✓ 2023年11月から本格開始、以降月2回ペースにて運行

背景など

- ✓ J A全農様・全農物流様は、2024年問題を見据え、農産品輸送の今後の輸送力確保に強い危機感を持たれており、当社からモーダルシフト策として専用列車の運転を提案
- ✓ 荷量が多く、トラック輸送が中心である米をターゲットに、東北・新潟・北陸の各産地を經由する専用列車の運転を検討
- ✓ 鉄道輸送に合わせたリードタイム（納期延長）にご協力をいただき輸送が実現
- ✓ また、パレット利用・フレコン限定の荷姿にすることで手荷役が削減でき、集配を行う利用運送事業者の負担を軽減



【J A全農・全農物流 米専用列車の輸送ルート】



事例② ホクレン農業協同組合連合会様 乳牛飼料輸送のコンテナ化について

■ 発勝ちエリアへの財源誘致（「到着貨物誘致」と「トラック輸送力不足の補完」）による往復輸送実現

乳牛飼料の内陸部への鉄道輸送化 【ホクレン農業協同組合連合会様】

輸送概要

- ✓ 苫小牧港に輸入されたものを中心に同市内の工場で加工・製造された乳牛飼料の一部を従来のトラック輸送からコンテナ輸送へ切り替えを実施
- ✓ 天候に左右されず安定的な輸送を図るため、着利用運送事業者において専用上屋を設置し対応
- ✓ トラック1台分でスタート、今後トラックで運びきれない部分は増えていくと想定され、鉄道による輸送量を増やしていく方向



背景など

- ✓ 名寄ORSの発着バランス改善として、到着貨物の誘致を図るべく関係各社様の打合せを進めていたところ、ホクレン農業協同組合連合会様及び日本通運様から乳牛飼料の鉄道輸送について提案
- ✓ 荷量が多く、安定的に輸送されているが、製造工場が沿岸部に立地しているため、苫小牧貨物駅を活用した鉄道輸送の可能性を検討
- ✓ 安定的な供給が重要であり、鉄道輸送のリードタイムでも関係者間で調整し許容いただけることとなった
- ✓ また、荷姿がフレコンであり、手荷役が削減できることから集配を行う利用運送事業者の負担を軽減



事例③ 九州発青果物輸送のパレット化について

■ 担い手不足や集配時間の短縮など、生産性向上に向けてパレット化を推進

【玉葱】

◇JAさが（佐賀）

白石地区
2023年4月から
みどり地区
2023年4月から
佐城地区
2024年4月から
パレット化実施



【みかん】

◇JA熊本市（熊本）

2021年9月から
パレット化実施

JAみっかび（静岡）とパレットを
共同運用



【馬鈴薯】

◇JA鹿児島いずみ（鹿児島）

長島選果場
2023年4月から
東選果場
2024年4月から
パレット化実施



【馬鈴薯】

◇JA知名・JA和泊（沖永良部島）、JA西之表（種子島）
2020年2月からパレット化実施



事例④ 青果物の定温輸送について

- 温度管理が必要となる青果物について、定温管理ができるコンテナ（冷凍、冷蔵コンテナ）を利用した鉄道輸送が可能

【キャベツ】冷蔵コンテナ

◇ JA鹿追（北海道）JA豊橋（愛知）



【ピーマン】冷凍コンテナ

◇ JA高知県（高知）



【りんご】冷蔵コンテナ

◇ JA津軽みらい、JAつがる弘前（青森）



【トマト】Ice Battery（冷蔵コンテナ内に蓄冷材を搭載）

◇ JA熊本（熊本）



【参考資料】

1. JR貨物の概要
2. 陸上輸送における距離帯別の輸送モードシェア
3. 主な取扱い貨物
4. 農産品・青果物の主な取扱い品目と主な発都道府県
5. 積替ステーションと駅パレの設置駅一覧

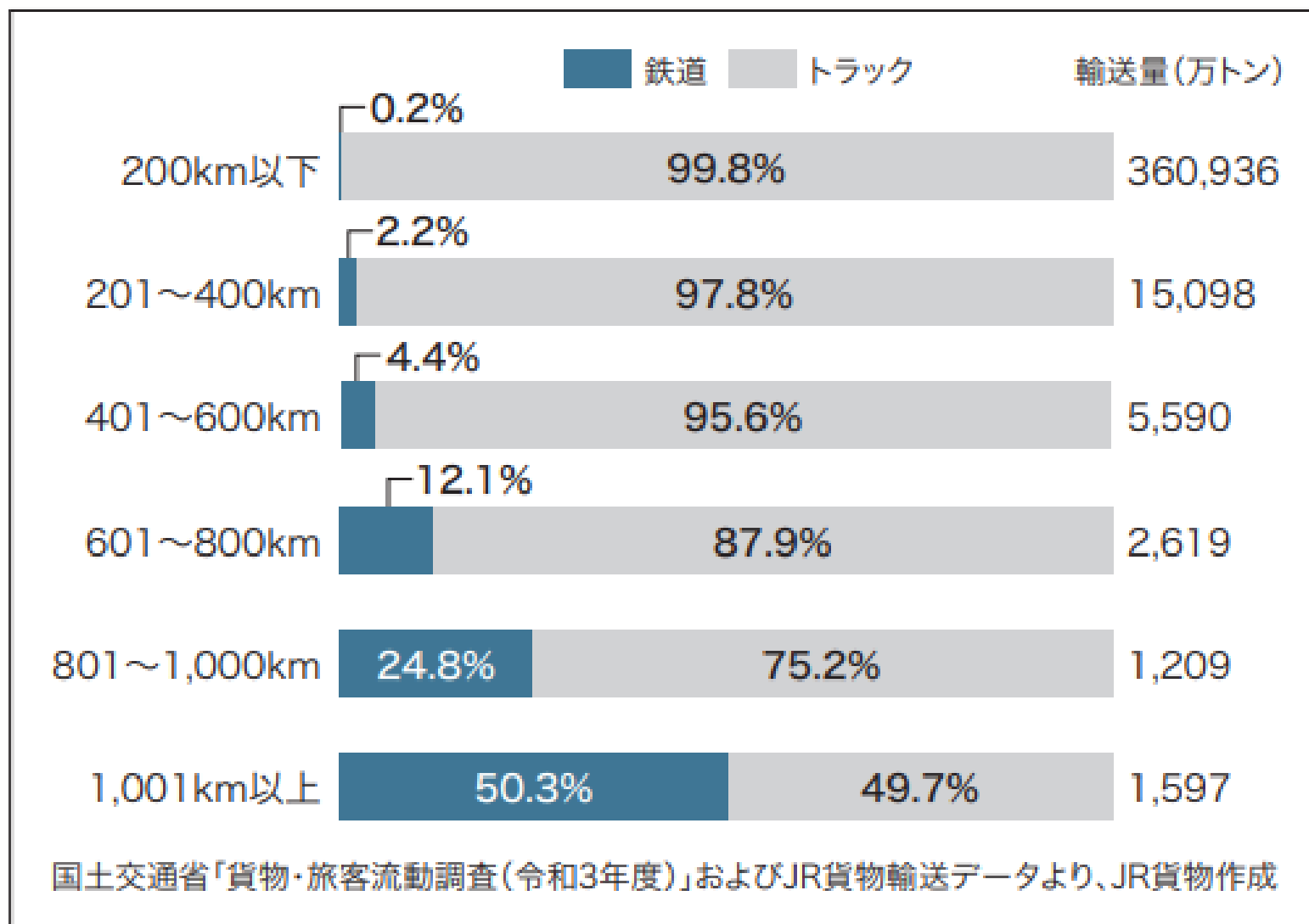
1. JR貨物の概要 (2024年4月現在)

全国ネットワークで貨物鉄道輸送を行っている唯一の事業体

名 称	日本貨物鉄道株式会社 (Japan Freight Railway Company)
設 立	1987年 (昭和62年) 4月1日
資 本 金	190億円
株 主	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設設備支援機構
営業キロ	75線区 7,805.5Km (基本的に第二種鉄道事業者 6旅客会社の線路を借りて運行)
貨 物 駅	<u>237駅</u>
列車本数	<u>399本 (コンテナ332本、車扱67本) /日</u>
列車キロ	<u>18.6万Km/日</u>
車 両 数	機関車525両、貨物電車42両、貨車7,091両
コンテナ	<u>62,153個</u>
社 員 数	<u>5,637人</u> (会社発足時12,005人)
経営成績	(2023年度・連結)
営業収益	1,885億円 経常利益 △42億円
輸 送 量	2,652万トン【コンテナ1,810万トン、車扱841万トン】
輸送トンキロ	175億トンキロ

2. 陸上輸送における距離帯別の輸送モードシェア

鉄道は中・長距離帯ほど特性を発揮



3. 主な取扱い貨物

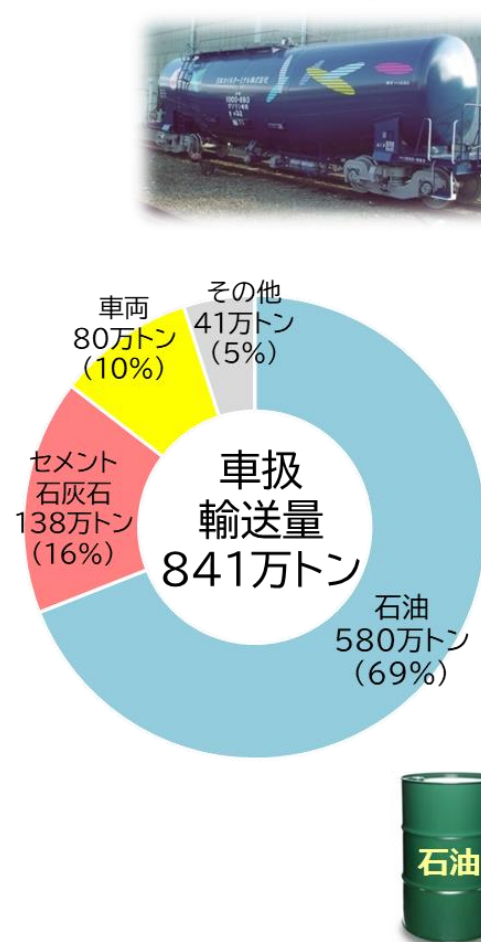
貨物鉄道輸送は「コンテナ輸送」と「車扱輸送」の2つの輸送形態で輸送サービスを提供
食料工業品や宅配便等の生活関連物資を始め、様々な品目を輸送しています

コンテナ

【品目輸送量内訳(2023年度)】



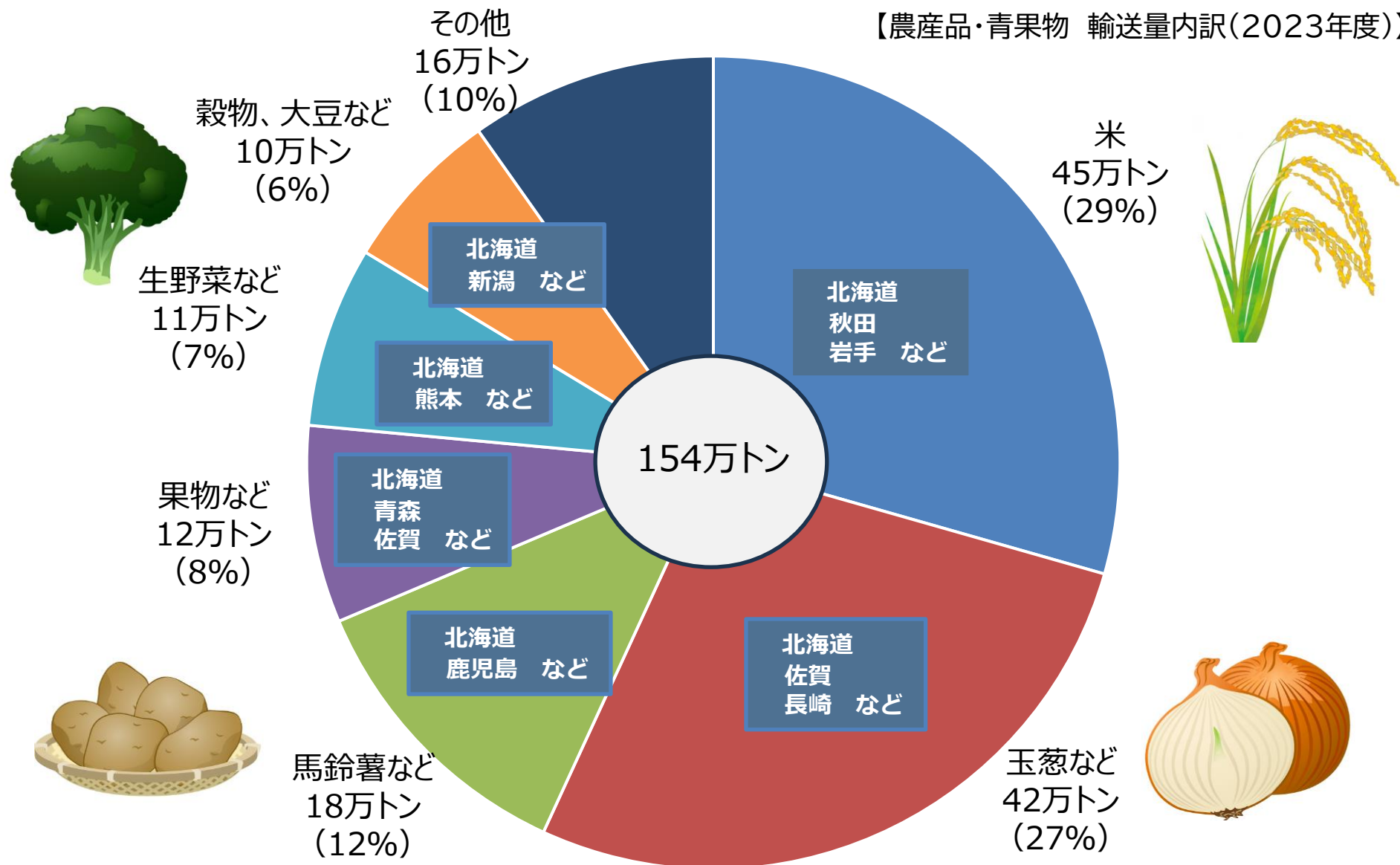
車 扱



(注) ・輸送量は単位未満切り捨てのため、合計値とは異なる。
・割合は四捨五入で表記している。

4. 農産品・青果物の主な取扱い品目と主な発都道府県

【農産品・青果物 輸送量内訳(2023年度)】



5. 積替ステーションと駅パレの設置駅一覧

凡例

- 積替ステーション
- ★ 駅パレ



<積替ステーション設置駅>

函館貨物駅（北海道）
東青森駅（青森県）
八戸貨物駅（青森県）
秋田貨物駅（秋田県）
水沢駅（岩手県）
郡山貨物ターミナル駅（福島県）
新座貨物ターミナル駅（埼玉県）
東京貨物ターミナル駅（東京都）
※岐阜貨物ターミナル駅（岐阜県）
松山貨物駅（愛媛県）

※駅隣接地に所在しています

★<駅パレ設置駅>

帯広貨物駅（北海道）
札幌貨物ターミナル駅（北海道）
仙台貨物ターミナル駅（宮城県）
郡山貨物ターミナル駅（福島県）
宇都宮貨物ターミナル駅（栃木県）
岐阜貨物ターミナル駅（岐阜県）
京都貨物駅（京都府）
吹田貨物ターミナル駅（大阪府）
百済貨物ターミナル駅（大阪府）
岡山貨物ターミナル駅（岡山県）
東福山駅（広島県）
湖山オフレールステーション（鳥取県）
熊本駅（熊本県）